

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年02月07日

計画の名称	相模原市当麻地区土地区画整理事業（産業を中心とした複数の都市機能を有する新たな都市づくりの拠点の整備）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	相模原市												
計画の目標	当麻地区における安全性や利便性を高めるため、都市計画道路等の都市基盤整備を進めるとともに、都市の活力を支える産業用地や新たな居住地を創出し、環境との共生に配慮した魅力あふれる都市づくりの拠点整備を進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,510	A	1,665	B	845	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	区画整理事業計画区域内の就業人口の増加 区画整理事業計画区域内の従業者数を集計する。	0人	人	1000人
2	区画整理事業計画区域内の公共施設基盤整備率 道路、公園、下水道の整備率であり、以下の式で算出する 公共施設基盤整備済面積／計画公共施設基盤整備面積 × 100%	0%	%	100%
3	区画整理事業計画区域内の宅地整備率 宅地の整備率であり、以下の式で算出する 使用収益開始宅地面積／計画宅地面積 × 100%	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
本整備計画は、平成25年度から平成30年度の6か年の計画期間である。								

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	相模原市	間接	相模原市当 麻宿地区土 地区画整理 組合	区画	改築	当麻宿地区（（都）鍛冶 谷相模原線及び区画道路 ）	区画整理 A=14.5ha	相模原市	■	■	■	■	■	1,665		未策定
		平成25年度からの計画																	
											小計						1,665		
											合計						1,665		

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	B01-001	下水道	一般	相模原市	間接	相模原市当 麻宿地区土 地区画整理 組合	—	新設	当麻宿地区（（都）鍛冶 谷相模原線及び区画道路 ）	下水道（雨水） L=2,282.6 m 下水道（汚水） L=3,26 6.4m 調整池 A=3,833.5㎡	相模原市	■	■	■			845		未策定
当麻宿地区の道路整備と一体的に計画及び整備を行うことで、地区内雨水等に対する排水対策済の道路延長が増加するため、都市基盤が整備された良好な市街地の比率が向上する。																			
平成25年度からの計画																			
											小計						845		
											合計						845		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	575	103	140	120	123
計画別流用増△減額 (b)	0	15	4	0	19
交付額 (c=a+b)	575	118	144	120	142
前年度からの繰越額 (d)	56	436	10	30	0
支払済額 (e)	195	544	124	150	142
翌年度繰越額 (f)	436	10	30	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					